

2021 年度 個人研究実績・成果報告書

2022 年 3 月 25 日

所属	基盤教育機構	職名	准教授	氏名	田中信一郎
研究課題	エネルギー政策を補助線とする地域再生政策の研究				
研究キーワード	公共政策、自治体、地域経済、エネルギー、人口減少	当年度計画に対する達成度	2.順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が達成できた		
関連するSDGs項目	7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	11. 住み続けられるまちづくりを	13. 気候変動に具体的な対策を	17. パートナリーシップで目標を達成しよう	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>① 上田ビジョン研究会との共同による持続可能なまちづくりに関する研究：論文「自治体の立地適正化計画と他の行政計画との関係―長野県上田市の事例」を日本計画行政学会『計画行政』に投稿し、査読を経た上で、同第 44 巻第 3 号（2021 年 8 月）に掲載された。</p> <p>② 環境省「地方公共団体実行計画策定・実施マニュアル」への知見の反映：2021 年 5 月に改正された「地球温暖化対策の推進に関する法律の一部を改正する法律」を受け、環境省に設置された「地方公共団体実行計画策定・実施マニュアルに関する検討会」に委員として参画し、研究で得た知見を提供した。</p> <p>③ 長野県「ゼロカーボン戦略」への知見の反映：2021 年 6 月に策定された長野県「ゼロカーボン戦略―第四次長野県地球温暖化防止県民計画・第一次長野県脱炭素社会づくり行動計画」に対し、同地球温暖化対策専門委員会委員として参画し、研究で得た知見を提供した。</p> <p>④ 事例及び文献の収集：人口減少社会・持続可能社会を考察するための文献収集を幅広く行うとともに、環境省、地球環境戦略研究機関、長野県、ニセコ町、飯豊町、北栄町等の関係者と人口減少等について意見交換を行った。</p> <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【論文（査読あり）】</p> <p>「自治体の立地適正化計画と関連する行政計画との関係―長野県上田市の事例」田中信一郎／高橋伸英（共著）『計画行政』第 44 巻第 3 号 2021 年 8 月 15 日</p> <p>【著書・論文（査読なし）】</p> <p>『国家方針を転換する決定的十年―新自由主義から社会的共通資本へ』田中信一郎（単著）現代書館 2021 年 5 月 31 日</p> <p>「書評：田野大輔『ファシズムの教室―なぜ集団は暴走するのか』」田中信一郎（単著）『年報政治学』2021 年 6 月 15 日</p> <p>「人口減少・経済成熟・気候変動を前提に社会システムの変革を～真のゼロカーボン社会へ（上）エネルギー源だけのゼロカーボン是不十分」田中信一郎（単著）『論座』2021 年 9 月 3 日</p> <p>「徒歩・自転車・公共交通中心の都市構造へ転換を～真のゼロカーボン社会へ（中）移動手段の多様化で自動車燃料消費を抑える」田中信一郎（単著）『論座』2021 年 9 月 5 日</p> <p>「炭素の価格付け」が地方再生の切り札になる～真のゼロカーボン社会へ（下）国はデジタルとエネルギーを一体化した新産業創出の後押しを」田中信一郎（単著）『論座』2021 年 9 月 7 日</p> <p>「環境と倫理」講義を通じた倫理教育の実践例」田中信一郎（単著）『CUC VIEW&VISION』2021 年 9 月 30 日</p>					

「安倍・菅政権を継承する岸田首相と「公助」重視の枝野代表～国会演説で見えた国家方針」首相は「成長なくして分配なし」、枝野氏は「分配なくして成長なし」 田中信一郎（単著）『論座』2021年10月14日

「立憲の新代表に求められるのは路線転換ではなく、民主主義の再生だ—綱領実現への精度を高め、人々を「投票」へいざなう政党へ」 田中信一郎（単著）『論座』2021年11月25日

「民主主義と公正市場を強化する「憲法改革」が経済成長と財政再建をもたらす—産業の「知識化」への適合と、政策決定の透明化、税制への信頼がカギ」 田中信一郎（単著）『論座』2022年2月16日

【学会発表等】

特になし

3. 主な経費

- ・人口減少社会・持続可能社会を分析するために書籍を購入
- ・上田市でのまちづくりに関する研究会に参画（2021年11月19日）（2021年12月18日）
- ・ニセコ町でのまちづくりに関する研究会に参画（2021年11月6日）（2022年2月5日）

4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）

- ・「基礎自治体レベルでの低炭素化政策検討支援ツールの開発と社会実装に関する研究」環境研究総合推進費（課題番号 2-1910）研究にアドバイザーとして参画
- ・「立地地域に資する再生可能エネルギー事業を実現する社会的仕組み」ニッセイ財団学際的総合研究助成研究に共同研究者として参画
- ・環境省地方公共団体実行計画策定・実施マニュアルに関する検討会委員
- ・環境省熱中症対策の総合的な推進に係る検討会委員
- ・環境省カーボンニュートラルに向けた都市地域炭素マッピング等イノベーション手法研究会委員
- ・静岡県議会脱炭素社会推進特別委員会参考人
- ・長野県環境審議会地球温暖化対策専門委員会委員
- ・日本政治学会 2021 年度書評委員会委員
- ・明治大学政治制度研究センター客員研究員